

シンポジウム「文化を守る絆—津波被災文化財再生への挑戦—」

主 催： 津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会

共 催： 東京国立博物館

開催日時： 平成 27 年 3 月 11 日（水）10 時～15 時（開場は 9 時 30 分）

会 場： 東京文化財研究所セミナー室

定 員： 定員 110 名（先着順、事前申込み不要）

参加費： 無料

趣 旨： 2011 年 3 月 11 日、東日本大震災による大津波は、地域の文化を支えてきた文化財にも甚大な被害をもたらしました。震災後、東京国立博物館をはじめとする全国の博物館、美術館あるいは図書館は、陸前高田市立博物館、岩手県立博物館と協力し、レスキュー活動や安定化处理など被災文化財の再生に取り組んできました。それらの活動に対し国内外の個人・団体から寄せられた支援は、現地の方々のみならず私たちを勇気づけ、そして私たちは人と人をつなぐネットワーク『絆』の大切さに改めて気付きました。例えば、大津波で流され、アメリカの西海岸に漂着した岩手県立高田高校の実習船「かもめ」が、現地の高校生の呼びかけにより、2013 年に返還されました。2013 年に陸前高田市を視察したケネディ駐日大使により、実習船に付着していたエボシガイとムラサキイガイの標本が、友好のしるしとして特別なお土産として贈呈されました。

このたびのシンポジウムでは、私たちの歴史のよりどころであり、かけがえのない文化財を、激動する地球の環境の中で守るために、改めて絆について考えてみたいと思います。

プログラム（予定）

10：00 開会、挨拶

10：10～11：10 記念講演：作家 京極夏彦氏

11：10～11：55 基調講演：NHK解説委員 柳澤伊佐男氏

11：55～13：30 休憩

13：30～14：45 パネルディスカッション

熊谷賢氏（陸前高田市立博物館）、赤沼英男氏（岩手県立博物館）、前川さおり氏（遠野文化研究センター）、真鍋真氏（国立科学博物館）、半田昌之氏（日本博物館協会）、神庭信幸氏（東京国立博物館）

14：45～15：00 ビデオメッセージの紹介

ロリー・デングラー氏（ハンブルト大学津波研究センター教授）、コリーン・パーカー氏（デルノーテ高校前校長）、横田昭彦氏（岩手県立高田高校長）

15：00 閉会

以上